



新任医師を紹介します

いよいよ桜の咲く新年度がスタートし、入学・入職シーズン到来です！ 村立東海病院にも新しい職員が入職しました。今回は4月から着任した医師2人を紹介します。



内科医

大脇 嶺

(おおわき たかね)

【略歴】 岐阜大学医学部卒業。昭和46年6月から神戸市立中央市民病院に勤務。昭和55年4月から高知市立市民病院で勤務、内科長、副病院長を経て病院長に就任する。その後高知県高知市病院企業団高知医療センター副病院長、町立信濃病院で内科科長として勤務し、平成24年4月から村立東海病院に勤務。日本内科学会認定医、日本循環器学会専門医、日本心臓病学会特別正会員、日本超音波医学会専門医・指導医。高知県出身。

【ごあいさつ】 東海村の皆さん、初めまして。4月からお世話になっております大脇嶺と申します。大学を卒業して以来、神戸市、高知市、長野県信濃町と公立病院で41年間勤務して参りました。当初は循環器内科に所属し、心臓病を中心とする診療に従事していましたが、近年は生活習慣病など内科全般にわたり担当しております。コミュニケーションを重視した診療を心掛けたいと思っていますので、よろしくお願い申し上げます。



小児科医

松井 猛彦

(まつい たけひこ)

【略歴】 信州大学医学部卒業。昭和47年4月から同愛記念病院(東京)に勤務。東京都立豊島病院を経て平成6年から東京都立荏原病院(現東京都保健医療公社に改組)などに勤務、小児科部長に就任。平成24年4月から村立東海病院に勤務。日本小児科学会指導責任医、日本アレルギー学会専門医、指導医。

【ごあいさつ】 東海村の皆さん、初めまして。私は高校まで東京で過ごした後、長野県松本市の信州大学医学部で豊かな自然に囲まれ思い出深い大学生活を過ごしました。卒業後は小児アレルギー疾患の先駆的な病院である同愛記念病院小児科で臨床研修を始め、小児疾患について研さんしました。その後都立病院などに勤務し、臨床アレルギーを中心に臨床と研究に携わってきました。茨城県は人口当たりの小児科医が最も少ない県と聞いています。皆さんのご助言・ご助力を得ながら、村の小児の健康と医療、アレルギー疾患の克服に少しでも貢献できれば幸いです。よろしくお願い申し上げます。

看護の日イベントのおしらせ

5月12日は看護の日です。近代看護を築いたフローレンス・ナイチンゲールの誕生日にちなみ制定されました。今年度看護部では、地域の方と交流し、当院の看護師の活動内容を知ってもらうことを目的とした看護の日のイベントを企画しました。皆様のご来場をお待ちしています。

◆日時 5月12日(土) 午前10時～午後2時

◆場所 村立東海病院 1階受付前

◆内容 ●各部署、看護活動のポスター展示 ●身体測定(身長、体重、血圧、体脂肪、SpO₂の測定) ●慢性閉塞性肺疾患(COPD)疑似体験 ●救急蘇生・AED体験 ●白衣記念撮影 ※白衣は大人用、子ども用があります。撮影した写真はプレゼントします。 ●塗り絵 ●風船、看護の日グッズのプレゼント(数量限定)

テーマ

村立東海病院の看護は、
「こころまで、見る。」